



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月2日

上場会社名 いであ株式会社

上場取引所 東

コード番号 9768 URL <https://ideacon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 田畑 日出男

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長管理本部長 (氏名) 市川 光昭 TEL 03-4544-7600

四半期報告書提出予定日 2020年11月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	16,494	1.7	2,046	18.0	1,967	23.1	1,265	25.4
2019年12月期第3四半期	16,782	16.9	2,494	104.4	2,557	98.3	1,695	96.4

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,141百万円 (30.9%) 2019年12月期第3四半期 1,652百万円 (79.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	177.30	
2019年12月期第3四半期	237.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	26,402	18,188	68.9	2,547.44
2019年12月期	26,127	17,261	66.1	2,417.55

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 18,187百万円 2019年12月期 17,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		30.00	30.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	1.9	2,050	6.1	2,100	3.1	1,470	2.1	205.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	7,499,025 株	2019年12月期	7,499,025 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	359,491 株	2019年12月期	359,402 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	7,139,567 株	2019年12月期3Q	7,139,750 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により依然として厳しい状況にあり、感染拡大の防止策を講じつつ各種経済活動の再開が段階的に進められるなかで、持ち直しの動きがみられておりますが、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く市場環境は、令和元年度の政府補正予算と令和2年度予算において、自然災害からの復旧・復興、防災・減災対策、国土強靱化の取組の加速・深化、将来を見据えたインフラ老朽化対策の推進、交通の安全・安心の確保、東日本大震災からの復興・創生、気候変動対策、生物多様性の保全と持続可能な利用、環境リスクの管理などの当社グループの強みを活かせる分野に重点配分されており、比較的堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、安全・安心で持続可能な社会の実現、CSRのさらなる推進、コンサルタントとしての技術力の総合化・多様化・高度化、さらには企業価値の向上を目標に事業を推進してまいりました。

また、当社グループは、2019年から2021年までの第4次中期経営計画において、「イノベーションとマーケティングによる市場創生・新規事業の展開と海外事業の拡大」をスローガンに掲げ、①新規事業の創出・新市場の開拓と技術開発の推進、②イノベーションやマネジメントを担える人材の確保・育成、③基幹事業分野の強化、④海外事業の拡大と海外展開の推進、⑤民間・個人市場への展開、ものづくりの推進、⑥IOT・ロボット・AI等先端技術の利活用、⑦働き方改革の推進、⑧組織の一体化・効率化とガバナンス体制の強化、の8つの重要な経営課題に取り組むことにより、強い経営基盤の構築と安定的な成長を目指してまいりました。さらには、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会的要請に対応するため、食品・生命科学研究所（大阪市住之江区）及び環境創造研究所（静岡県焼津市）を衛生検査所として登録し、新型コロナウイルス検査の体制を整備いたしました。

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、受注高は大規模な海洋環境調査、令和元年東日本台風対応を含む防災・減災関連業務が増加したこと等により、前年同四半期比12億4百万円増加の178億6千7百万円（前年同四半期比7.2%増）となり、受注残高は受注額の増加及び売上高の減少により、同30億1千万円増加の211億4百万円（同16.6%増）となりました。売上高については新型コロナウイルス感染症拡大の影響は軽微に留まったものの、平成30年7月豪雨対応を含む防災・減災関連業務やインフラ施設の設計・維持管理関係業務等の売上が減少したこと等により、同2億8千7百万円減少の164億9千4百万円（同1.7%減）となりました。

売上高の減少に加え、現地調査など原価率の高い業務の占める割合が増加したことによる売上原価率の上昇及び受注獲得のための体制強化等により、営業利益は前年同四半期比4億4千8百万円減少の20億4千6百万円（前年同四半期比18.0%減）、経常利益は営業外費用で投資事業組合運用損の計上があったことにより、同5億8千9百万円減少の19億6千7百万円（同23.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は同4億2千9百万円減少の12億6千5百万円（同25.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメント間取引を含んでおります。）

（環境コンサルタント事業）

同事業は、当社及び連結子会社4社（新日本環境調査株、沖縄環境調査株、東和環境科学株、以天安（北京）科技有限公司）が行っている事業であり、環境アセスメント及び環境計画部門、環境生物部門、数値解析部門、調査部門、環境化学部門、気象・沿岸部門の6部門より構成されております。

化学物質の環境リスク評価に係る大型業務や大規模な海洋環境調査の売上が増加したこと等により、売上高は前年同四半期比8億7百万円増加の107億5千5百万円（前年同四半期比8.1%増）となりましたが、現地調査など原価率の高い業務の占める割合が増加したことによる売上原価率の上昇及び受注獲得のための体制強化等により、セグメント利益は同1億1千2百万円減少の12億4千4百万円（同8.3%減）となりました。

(建設コンサルタント事業)

同事業は、当社が行っている事業であり、河川部門、水工部門、道路部門、橋梁部門、海外部門の5部門より構成されております。

新型コロナウイルス感染拡大防止への対応に伴い、海外関連事業が中断し完成時期が先送りされたことや平成30年7月豪雨対応を含む防災・減災関連業務やインフラ施設の設計・維持管理関係業務等の売上が減少したこと等により、売上高は前年同四半期比9億2千5百万円減少の52億6千2百万円(前年同四半期比15.0%減)となり、売上高の減少等により、セグメント利益は同2億6千8百万円減少の6億8千4百万円(同28.1%減)となりました。

(情報システム事業)

同事業は、当社が行っている事業であり、システム開発及び画像解析等の事業を行っております。

システム開発に関する業務や同事業部門が担当する放射能除染関連業務が減少したこと等により、売上高は前年同四半期比1億4千1百万円減少の3億4千8百万円(前年同四半期比28.8%減)、売上高の減少等により、セグメント利益は同4千9百万円減少の1千3百万円(同78.3%減)となりました。

(不動産事業)

同事業は、当社が行っている事業であり、赤坂のオフィスビル等の不動産賃貸事業を行っております。

売上高は前年同四半期比2千2百万円減少の1億8千4百万円(前年同四半期比10.7%減)、セグメント利益は同1千7百万円減少の1億3百万円(同14.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比べ2億7千5百万円増加の264億2百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。

流動資産につきましては、主に売上債権の回収及び前受金の増加により現金及び預金が33億3千6百万円増加、受取手形及び営業未収入金が18億5百万円減少、第2四半期に完工業務が集中することから仕掛品が9億1千5百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ6億1千4百万円増加の104億8千5百万円(前年同四半期比9.3%増)となりました。

固定資産につきましては、主に建物が5千6百万円減少、投資有価証券が2億8千万円減少、繰延税金資産が6千3百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ3億3千9百万円減少の159億1千6百万円(前年同四半期比1.0%増)となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比べ6億5千1百万円減少の82億1千3百万円(前年同四半期比2.7%増)となりました。

流動負債につきましては、主に支払手形及び営業未払金が2億6百万円減少、返済による短期借入金が9億円減少、賞与引当金が4億円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ5億5千7百万円減少の42億2千2百万円(前年同四半期比11.3%増)となりました。

固定負債につきましては、主に償還により社債が2千5百万円減少、退職給付に係る負債が2千8百万円減少、固定負債その他が4千8百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ9千4百万円減少の39億9千1百万円(前年同四半期比5.1%減)となりました。

(純資産)

純資産につきましては、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が10億5千1百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ9億2千7百万円増加の181億8千8百万円(前年同四半期比4.8%増)となりました。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末に比べ2.8ポイント上昇の68.9%(前年同四半期は68.4%)となり、また、支払能力を示す流動比率は、前連結会計

年度末に比べ41.8ポイント上昇の248.3%（同252.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応に伴う実施中業務の一時中止や工期延長等によって、当第3四半期連結累計期間に売上計上を見込んでいた一部業務の完成時期が先送りされたものの、その影響は軽微であるため、前回の業績予想(2020年2月3日発表「2019年12月期決算短信」)から変更はありません。

今後の新型コロナウイルスの影響等による市場の動向を注視し、業績予想の修正が必要であると判断した場合、速やかに公表いたします。

なお、第3四半期連結累計期間において、売上高は164億9千4百万円（前年同四半期比1.7%減）となり、通期予想売上高200億円の82.5%まで進捗しておりますが、例年、当社グループの売上高は上半期に集中する季節変動特性を有しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,162,542	4,498,994
受取手形及び営業未収入金	2,216,143	410,712
有価証券	248	785
仕掛品	6,369,423	5,453,915
貯蔵品	41,105	36,495
その他	91,177	91,900
貸倒引当金	△10,032	△7,252
流動資産合計	9,870,609	10,485,551
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,082,345	4,025,683
土地	7,777,542	7,777,542
その他（純額）	1,332,460	1,295,639
有形固定資産合計	13,192,348	13,098,864
無形固定資産	81,268	66,895
投資その他の資産		
投資有価証券	2,048,457	1,767,832
繰延税金資産	24,066	87,192
その他	968,943	943,608
貸倒引当金	△58,636	△47,736
投資その他の資産合計	2,982,831	2,750,897
固定資産合計	16,256,448	15,916,658
資産合計	26,127,057	26,402,209
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	850,520	643,606
短期借入金	1,000,000	100,000
1年内償還予定の社債	50,000	25,000
未払法人税等	465,117	469,300
賞与引当金	92,773	493,031
受注損失引当金	17,005	4,127
その他	2,303,898	2,487,136
流動負債合計	4,779,315	4,222,201
固定負債		
社債	1,025,000	1,000,000
繰延税金負債	28,978	23,754
役員退職慰労引当金	319,014	331,454
退職給付に係る負債	2,523,668	2,495,070
その他	189,299	140,868
固定負債合計	4,085,961	3,991,147
負債合計	8,865,276	8,213,349

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,173,236	3,173,236
資本剰余金	3,352,573	3,352,573
利益剰余金	10,433,819	11,485,510
自己株式	△139,672	△139,870
株主資本合計	16,819,957	17,871,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	444,852	322,087
為替換算調整勘定	△2,917	△4,881
退職給付に係る調整累計額	△1,523	△1,101
その他の包括利益累計額合計	440,411	316,103
非支配株主持分	1,412	1,306
純資産合計	17,261,781	18,188,860
負債純資産合計	26,127,057	26,402,209

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	16,782,324	16,494,979
売上原価	11,228,038	11,421,303
売上総利益	5,554,285	5,073,675
販売費及び一般管理費	3,059,817	3,027,495
営業利益	2,494,468	2,046,179
営業外収益		
受取利息	936	795
受取配当金	10,908	12,314
受取保険金及び配当金	11,644	9,231
保険解約返戻金	25,493	19,680
投資事業組合運用益	19,146	—
その他	14,063	16,333
営業外収益合計	82,193	58,354
営業外費用		
支払利息	3,245	3,971
持分法による投資損失	13,418	19,525
投資事業組合運用損	—	106,245
その他	2,832	7,464
営業外費用合計	19,496	137,207
経常利益	2,557,166	1,967,326
特別利益		
固定資産売却益	—	67,704
特別利益合計	—	67,704
特別損失		
固定資産除却損	—	83,992
特別損失合計	—	83,992
税金等調整前四半期純利益	2,557,166	1,951,038
法人税、住民税及び事業税	907,072	720,538
法人税等調整額	△45,595	△35,286
法人税等合計	861,476	685,252
四半期純利益	1,695,689	1,265,785
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△77	△93
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,695,766	1,265,879

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,695,689	1,265,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,629	△122,765
為替換算調整勘定	△4,421	△570
退職給付に係る調整額	△42,897	421
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,893	△1,405
その他の包括利益合計	△43,583	△124,319
四半期包括利益	1,652,105	1,141,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,652,265	1,141,570
非支配株主に係る四半期包括利益	△160	△105

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,942,279	6,188,910	489,483	161,651	16,782,324	—	16,782,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,439	—	—	45,009	50,448	△50,448	—
計	9,947,719	6,188,910	489,483	206,660	16,832,773	△50,448	16,782,324
セグメント利益	1,357,034	952,616	63,216	121,601	2,494,468	—	2,494,468

(注)1セグメント間取引消去によるものであります。

2セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,744,570	5,262,966	348,312	139,129	16,494,979	—	16,494,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,942	—	—	45,499	56,441	△56,441	—
計	10,755,512	5,262,966	348,312	184,628	16,551,421	△56,441	16,494,979
セグメント利益	1,244,074	684,516	13,733	103,856	2,046,179	—	2,046,179

(注)1セグメント間取引消去によるものであります。

2セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。